

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	高砂 美樹 (Miki Takasuna)	所属	東京国際大学
研究集会等名称	心理学史研究会		
成果概要	<p>①第76回日本心理学会ワークショップ共催</p> <p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください) 日本心理学会のワークショップであるので、基本的に参加者は会員である。代表者は司会や指定討論の準備で忙しかったため、正確な参加人数は把握していないが、20名以内であった。</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 「WS045 21世紀の心理学史と批判心理学」(9/11) および「WS084 Kurt Danziger と心理学史研究の発展」(9/12)において、批判心理学研究会と共催で、ダブリン大学の Adrian C. Brock を話題提供者として招聘した。 Danziger の愛弟子であり、本人も心理学史研究者である Brock 氏の話は心理学史研究会のメンバーにとっても有意義なものであった。研究会助成金4万円は Brock 氏の招聘費 (謝金・旅費を含む) として使われた。</p> <p>②第18回心理学史研究会</p> <p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください) 会員 12名 (うち認定心理士 0名) 非会員 1名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 日時: 2月9日 (土) 13時から17時 場所: 武蔵野美術大学 新宿サテライト (新宿西口 新宿センタービル9階) プログラム: 《1》13時~15時 一般演題 ・西川泰夫 わが師 印東太郎: 生誕90周年 ・鈴木聡志 戦時下の教育相談: 田中寛一編『愛児の導き方』をもとに ・大山 正 元良勇次郎の Ph.D 論文 Exchange について ・鈴木 滋 帝国陸軍における適性検査の開発 《2》15時~17時 【プレ合評会】サトウタツヤ: 臨床心理学史</p> <p>定例の研究会であり、個々の一般演題における質疑応答や、合評会における意見のやりとりなども盛んであった。研究会終了後には、新宿で懇親会が行われ、12名の参加があった。</p>		